

世界のキレイを秋田から  
秋田発のベンチャー企業



2006年、化粧品や日用品などの安全性や有用性を研究・調査する臨床試験受託機関として創業。秋田県庁第二庁舎内の創業支援室からスタートし、現在は秋田駅前のフォンテAKITA7Fにオフィスを構える。野澤一美代表は経営者としてのみならず、女性の働き方に関する講演など、多方面で活躍している。

### 創業の地に“秋田”を選択

全国的な知名度を誇る「秋田美人」。このキーワードを付加価値と捉え、秋田発のベンチャー企業として活躍する女性がいる。化粧品や日用品などの臨床試験を専門とするインターフェイス株式会社の野澤一美代表だ。

「化粧品や日用品などが市場に出回る際、製品に記載されている効能や効果、安全性に偽りがないかを科学的に検証し、得られたデータをメーカーへフィードバックしています」。

今でこそ当たり前に行われている臨床試験だが、当時の日本ではほとんど馴染みがない分野であった。製品の品質保証について「日本は欧米よりも数十年遅れていた」と語る野澤代表がキャリアを積んだのは語学留学先の米国だった。「はじめは大学に通いながらのアルバイトからでした」と笑う野澤代表だが、クライアントに寄り添う丁寧な接客が高く評価され、技術とノウハウを吸収しながらアジア担当部長まで勤め上げた。その後、10年以上のキャリアを活かして独立した。



“チャンスを逃さず独立、創業”

時を同じくして、PL法（製造物責任法）、薬事法改正に伴う化粧品の全成分表示等の義務付けにより日本での需要が高まっており、日本のメーカーから「日本で同様の試験を行ってほしい」と要望があった。悩んだもののこんなチャンスはまたないと、一念発起し、野澤代表は単身日本での起業を決意する。

「どこで起業しようかと考えていたとき、秋田出身の友人に“ベンチャー支援が充実している秋田でやるべき”と言われたんです。さっそく関係機関に出向き相談したところ、興味深い事業であるとしてご支援いただくことになり、秋田での起業に至りました」。

### 秋田が持つ可能性と付加価値

野澤代表は埼玉県出身。友人がいる以外に秋田には縁がなかったが、この地での起業には、確固たる勝算があった。

「米国人の夫とも“秋田の人の肌は他の人とは違う”と話していました。実際、秋田の女性たちの肌の白さやきめの細やかさは科学的にも証明されており、化粧品の被験者に適した肌をもつ候補者がとても多いんです。広く認知されている“秋田美人”というキーワードも大きな武器になると思いました」。

“秋田の肌”には、業界も以前から注目しており、野澤代表に信頼を寄せるメーカーからの依頼が相次いだ。

当初は、あまり聞きなれない業態での一般モニター集めに苦労したものの、県庁内にオフィスがある信頼性や女性創業者として注目されたことも相まって事業は順調に推移。2016年には秋田駅前のフォンテAKITAに移転し、現在の登録モニターは1万人を超えている。

14年の歳月を経て大きな成長を遂げたインターフェイスだ



が、野澤代表の優れた経営手腕が現れているのは売上だけではない。人材の雇用と育成、そして定着に向けた動きにも活発に取り組んでいる。特に同社のような県内にあまりない臨床試験専門の会社は、どうしても首都圏と比較すると経験者を採用しにくいという実情がある。

そのため、同社の業務内容を学生のうちから知ってもらおうと、県内大学生向けにジョブシャドウイング（半日から1日、従業員に密着し、職場での仕事を観察する体験）を実施し、近年は毎年2～3人の新卒雇用を実現している。また、業務の効率化を図るべく、シフト管理ソフトの導入やフレックス制、子連れ勤務、在宅勤務などを取り入れた多様な働き方を推進しており、野澤代表が自らの社員の悩みを聞くこともある。

「人材育成は課題のひとつです。私自身が楽しく仕事をしているため、目指しているのは社員にとっても楽しいと思える職場環境づくり。将来的にはもっと雇用の門戸を広げるため、小さな子供がいる方でも安心して働けるよう、社内に保育所をつくりたいと思っています」。



### 美しい世界を創るドリームメーカーに

より良い製品を世に出したいと望むクライアントの想いに全力で応え続けている野澤代表の姿勢と、常に世界を見据えている視線は創業当時から変わらない。多くの文化に触れることで、世界から見た秋田の地域ポテンシャルの可能性を見出した野澤代表自身の経験から、社員にも世界を意識し、挑戦しながら働くことの重要性を伝えている。

「ライバルは隣に座る同期ではなく、世界で働く同年代。これから起業を目指す人にも共通して言えることですが、常に色々なことに興味を持つことが大切です。そして、趣味でも仕事でも今やっていることにまずは全力で取り組むこと。自分が経験したことで無駄になることはひとつもありません」。

秋田発のベンチャー企業として、先陣を切って走り続けるインターフェイス。掲げる理念は“ドリームメーカーとしてひとりの夢がたくさんの人々の夢につながる美しい世界を創る”こと。小さな部屋から始まった大きな挑戦は、まだ見ぬ新しい“美しさ”を求めて、世界を舞台にどこまでも広がっていく。

- 1 丁寧なカウンセリングで集めたデータは高い評価を得ている。
- 2 社員の平均年齢は30代。オープンな社風が魅力のひとつ。
- 3-4 白を基調とした清潔で美しい室内。



**インターフェイス株式会社**

〒010-0001  
秋田県秋田市中通二丁目8-1  
フォンテAKITA 7F  
TEL. 018-827-7155  
FAX. 018-827-7188  
<https://clinical-testing.jp/>

設立/2006年  
●資本金/300万円  
●従業員数/25名  
●営業品目/化粧品・医薬部外品・日用品・健康補助食品・サプリメント等の安全性・有用性の臨床試験

代表取締役  
**野澤 一美**  
のざわ かずみ